令和８年度
沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科
（修士課程）
学生募集要項

◆10 月試験

◇障がいを有する等の配慮の申請期限
令和７年９月１日（月）　午後５時まで
◇出願期間
令和７年９月 19 日（金）～９月 29 日（月）　※９月 29 日郵送発信局消印有効
◇試験日程
令和７年 10 月 25 日（土）～10 月 26 日（日）
※集合時間・試験会場等の詳細情報については、試験日前日（10 月 24 日）の午後４時に首里当蔵キャンパス管理棟前及びウェブサイトに掲示するので必ず確認すること
◇合格発表
令和７年 10 月 28 日（火）　午前 10 時
※本学ウェブサイト掲載
◇入学手続
令和７年 10 月 30 日（木）～11 月４日（火）
※窓口受付時間：午前９時～午後５時（土・日、祝日を除く）
※11 月４日（火）郵送発信局消印有効

◆２月試験

◇障がいを有する者等の配慮の申請期限
令和７年 10 月 30 日（木）　午後５時まで
◇出願期間
令和７年 12 月８日（月）～12 月 15 日（月）　※12 月 15 日郵送発信局消印有効
◇試験日程
令和８年１月 31 日（土）～２月１日（日）
※集合時間・試験会場等の詳細情報については、試験日前日（１月 30 日）の午後４時に首里当蔵キャンパス管理棟前及びウェブサイトに掲示するので必ず確認すること
◇合格発表
令和８年２月６日（金）　午前 10 時
※本学ウェブサイト掲載
◇入学手続
令和８年２月 12 日（木）～２月 18 日（水）
※窓口受付時間：午前９時～午後５時（土・日、祝日を除く）
※２月 18 日（水）郵送発信局消印有効

令和７年６月

沖縄県立芸術大学
OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS
〒903-8602　沖縄県那覇市首里当蔵町１－４
電　話　　098-882-5058
https://www.okigei.ac.jp

目　　次

Ⅰ　アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、
　　ディプロマ・ポリシー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅱ　募集人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

Ⅲ　出願資格　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

Ⅳ　選抜方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

Ⅴ　試験日程　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

Ⅵ　試験科目、配点と試験曲等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

Ⅶ　受験上の注意　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

Ⅷ　不正行為　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

Ⅸ　出願手続き　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

Ⅹ　外国人志願者に対する特別措置　・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

ⅩⅠ　合格発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

ⅩⅡ　入学手続き　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

ⅩⅢ　過去の試験問題の公表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

ⅩⅣ　入試成績の情報提供について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

ⅩⅤ　入試説明会について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

■大学院案内■　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　15

■大学院研究室一覧■　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16

◆　研究計画書等提出書類　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科
（修士課程）

Ⅰ　アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

音楽芸術研究科は、音楽芸術の各分野における高度な専門的能力を養成することを目的としています。その上で、建学の理念に則り、沖縄の伝統芸術の技法的特徴やそれらを生成した歴史的・文化的・風土的特性等にも配慮した高度な実技教育を行うとともに、芸術の普遍性見地から、ひろく東西の美意識に関わる哲学的・美学的・文化的反省に立つ芸術教育を行います。また、沖縄を中心とした南島文化の多様な実態と伝統芸術文化の特色を解明するために、それらを歴史的・理論的に追求する音楽構造学および民族音楽等の観点から、汎アジア的広がりにおける東洋芸術文化の学際的な教育を行います。これらの教育活動を通じて、芸術文化に対する深い理解と感性を持ち、想像力豊かで、将来の社会における音楽芸術分野の幅広い実践活動を担う演奏家や研究者、芸術教育の場における専門的指導者となり得る人材の育成を図ります。

本研究科の教育理念に基づき、次のような点を入学者選抜の判定の主眼としています

1　幅広い教養と音楽芸術分野の専門的素養を備えているか。
2　専門分野の研究を行うのに必要な基礎的能力を備えているか。
3　現代社会において新しい芸術創造の営みを発信していく強い目的意識、意欲を備えているか。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

音楽芸術研究科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、講義、演習、実技を組み合わせた授業科目を開講し、修士演奏・作品（副論文含む）並びに修士論文作成のための研究指導を行います。教育課程については、履修表及びカリキュラムマップにより、体系性や各科目間の関係性を示します。

1 研究計画に基づいた研究指導により、専門分野における精緻な技術を身につけます。また、関連科目の履修によって広い視野に立った学識を涵養します。
2 課題探求や洞察に必要な、論理的思考力やコミュニケーションスキル、情報リテラシーなど、研究に必要な基礎的素養を養います。
3 各専攻分野で獲得した能力を応用し、高度の専門性が求められる各分野の職業を担い得る卓越した能力を培います。

■ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科では、教育の理念に沿った高度な専門教育において成果をあげ、修士演奏、修士作品又は修士論文の提出を経て、所定の修了単位を取得した学生に対し、修士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

1 専門分野における高度な技術力を身につけている。
2 研究分野における高度な研究能力と論理的思考力を身につけている。
3 研究分野における知識、技術を言語化、理論化し、社会に発信する能力を身につけている。

Ⅱ　募集人員

専　　攻	専　　修	募集人員
舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修 琉球舞踊組踊専修	4
演奏芸術専攻	声楽専修 ピアノ専修 管弦打楽専修	8
音楽学専攻	音楽学専修 作曲専修	3

Ⅲ　出願資格

１.一般選抜
　次の各号のいずれかに該当する者又は令和８年３月 31 日までに該当する見込みの者
（１）　大学を卒業した者
（２）　学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第７項の規定により学士の学位を授与された者
（３）　外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
（４）　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
（５）　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
（６）　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
（７）　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
（８）　文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部科学省令告示第５号）

（９）　大学に３年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
(10)　個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、22 歳に達したもの

※　出願資格（９）(10)の適用を受けようとする者、長期履修制度を利用する予定のある者は、次の期日までに教務学生課にメール（kyomu@okigei.ac.jp）で申し出ること。

＜10 月試験＞ 令和７年９月１日（月）まで　＜２月試験＞ 令和７年 10 月 30 日（木）まで

【障害を有する者等の配慮の申請】
　障がいを有する等の理由により受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、本学ウェブサイト「入試案内」に掲示している「受験上の配慮申請書」に必要事項を記入し、医師の診断書等を添付のうえ、次の期日までに教務学生課へ郵送により提出すること。

＜10 月試験＞ 令和７年９月１日（月）まで　＜２月試験＞ 令和７年 10 月 30 日（木）まで

なお、必要に応じて面談等を行う。本学がこれまでに実施した入学試験における配慮事例については、本学ウェブサイト「入試案内」を参照すること。

Ⅳ　選抜方法

入学者の選抜にあたっては専門試験、語学、基礎能力等の選抜試験及び成績証明書、履歴書等の各資料を総合して判定する。

Ⅴ　試験日程

＜10 月試験＞

<table>
<tr><th colspan="2">専攻／専修</th><th colspan="3">10月25日(土)</th><th colspan="3">10月26日(日)</th></tr>
<tr><td rowspan="2">舞台芸術専攻</td><td>琉球古典音楽専修</td><td></td><td>実技試験
13:00～</td><td></td><td rowspan="2">基礎能力

9:45～
10:45</td><td rowspan="2">語学

11:00～
12:00</td><td rowspan="2">面接

13:00～
15:30</td></tr>
<tr><td>琉球舞踊組踊専修</td><td>実技試験
9:30～</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">演奏芸術専攻</td><td>声楽専修</td><td></td><td></td><td>実技試験
15:30～</td><td rowspan="3">基礎能力1
8:30～
9:30

基礎能力2
9:45～
10:45</td><td rowspan="3">語学

11:00～
12:00</td><td rowspan="3">面接
13:00～
15:30</td></tr>
<tr><td>ピアノ専修</td><td>実技試験
9:30～</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>管弦打楽専修</td><td></td><td>実技試験
13:00～</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">音楽学専攻</td><td>音楽学専修</td><td>基礎能力
10:00～
11:30</td><td>口述試験
13:00～</td><td></td><td></td><td>語学
11:00～
12:00</td><td></td></tr>
<tr><td>作曲専修</td><td>口述試験
10:30～</td><td></td><td></td><td>基礎能力
9:45～
10:45</td><td>語学
11:00～
12:00</td><td></td></tr>
</table>

上記の試験時間は予定であり、志願者数によっては変更することもある。詳細については、10 月 24 日(金)午後４時に本学管理棟前及びウェブサイトに掲示するので、必ず受験者自身で確認すること。演奏順は本学事務局があらかじめ抽選し掲示する。

【試験場および集合時間と集合場所】

◆試験場：沖縄県立芸術大学（那覇市首里当蔵町１−４）**音楽棟および奏楽堂**

◆集合時間：専門試験（実技試験・作曲専修の口述試験）は試験開始**１時間前**
その他の試験は試験開始 30 分前

◆集合場所：本学音楽棟学生ホール
但し、**演奏芸術専攻の専門試験（実技）は奏楽堂ホワイエ**

＜２月試験＞

<table>
<tr><th colspan="2">専攻／専修</th><th colspan="3">1月31日(土)</th><th colspan="3">2月1日(日)</th></tr>
<tr><td rowspan="2">舞台芸術専攻</td><td>琉球古典音楽専修</td><td></td><td>実技試験
13:00～</td><td></td><td rowspan="2">基礎能力

9:45～
10:45</td><td rowspan="2">語学

11:00～
12:00</td><td rowspan="2">面接

13:00～
15:30</td></tr>
<tr><td>琉球舞踊組踊専修</td><td>実技試験
9:30～</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">演奏芸術専攻</td><td>声楽専修</td><td></td><td></td><td>実技試験
15:30～</td><td rowspan="3">基礎能力1
8:30～
9:30

基礎能力2
9:45～
10:45</td><td rowspan="3">語学

11:00～
12:00</td><td rowspan="3">面接
13:00～
15:30</td></tr>
<tr><td>ピアノ専修</td><td>実技試験
9:30～</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>管弦打楽専修</td><td></td><td>実技試験
13:00～</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">音楽学専攻</td><td>音楽学専修</td><td>基礎能力
10:00～
11:30</td><td>口述試験
13:00～</td><td></td><td></td><td>語学
11:00～
12:00</td><td></td></tr>
<tr><td>作曲専修</td><td>口述試験
10:30～</td><td></td><td></td><td>基礎能力
9:45～
10:45</td><td>語学
11:00～
12:00</td><td></td></tr>
</table>

上記の試験時間は予定であり、志願者数によっては変更することもある。詳細については、１月 30 日(金)午後４時に本学管理棟前及びウェブサイトに掲示するので、必ず受験者自身で確認すること。演奏順は本学事務局があらかじめ抽選し掲示する。

【試験場および集合時間と集合場所】
◆試験場：沖縄県立芸術大学（那覇市首里当蔵町１−４）**音楽棟および奏楽堂**
◆集合時間：専門試験（実技試験・作曲専修の口述試験）は試験開始**１時間前**
その他の試験は試験開始 30 分前
◆集合場所：本学音楽棟学生ホール
但し、**演奏芸術専攻の専門試験（実技）は奏楽堂ホワイエ**

Ⅵ　試験科目、配点と試験曲等（10月試験・２月試験共通）

Ⅵ－１　試験科目

専攻／専修		専門試験	基礎能力	語学	面接
舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修	実技試験	琉球芸能史	琉球古典語 （辞書持込不可）	面接 （研究計画書持込可） *3
	琉球舞踊組踊専修				
演奏芸術専攻	声楽専修		1　和声 2　西洋音楽史	英語　独語 仏語　伊語 上記４ヶ国語から １科目選択 （辞書持込可） *1	
	ピアノ専修				
	管弦打楽専修				
音楽学専攻	音楽学専修	口述試験	音楽・芸能の 歴史と理論 *2	英語 （辞書持込可） *1	
	作曲専修	口述試験	西洋音楽史	英語　独語 仏語　伊語 上記4ヶ国語から １科目選択 （辞書持込可） *1	

*1　但し、電子辞書は不可。
*2　西洋音楽・日本音楽・民族音楽・民族芸能の４領域から選択して解答する。
*3　研究計画書に基づき 15 分程度の面接を実施する。

Ⅵ－２　配点と試験曲

専　　修	総点	配　点　比			
		専門試験	基礎能力	語学	面接
琉球古典音楽	100	80	15		5
琉球舞踊組踊	100				
声楽	100				
ピアノ	100				
管弦打楽	100				
音楽学	100	60	20	20	
作曲	100	80	20		

舞台芸術専攻

琉球古典音楽専修	試　験　曲　等

歌三線、琉球箏のいずれかを選択し、それぞれ指定された科目を受験する。

【歌三線】

１．昔節「作田節」「ぢゃんな節」「しょどん節」より当日１曲を指定
２．二揚独唱曲「散山節」「仲風節」「述懐節」より当日１曲を指定
３．地謡「綛掛」「花風」より１つを選択

＊試験曲は、暗譜で独唱すること。
＊３は立方を伴う。立方は受験生が同伴し稽古着を着用。小道具は持参すること。
＊時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

【琉球箏】

１．「江戸菅撹・拍子菅撹・佐武也菅撹(三段～五段)」「六段菅撹」「七段菅撹」より当日１曲を指定
２．昔節「ぢゃんな節」「首里節」より当日１曲指定
３．地謡「綛掛」「花風」より１つを選択

＊試験曲は、暗譜で独唱すること。
＊３は立方を伴う。 立方は受験生が同伴し稽古着を着用。小道具は持参すること。
＊時間の都合により演奏の一部省略または中断を求めることがある。

琉球舞踊組踊専修	試　験　曲　等

琉球舞踊、組踊のいずれかを選択し、それぞれ指定された科目を受験する。

【琉球舞踊】

１．女踊「伊野波節」「諸屯」「作田」より当日１演目を指定
２．二才踊「ぜい」「前の浜」「高平良万才」より１演目を選択
３．雑踊「むんじゅる」「花風」より１演目を選択

＊地謡は受験生が同伴すること(三線２名、太鼓１名)。
　稽古着（長着）を着用。小道具は持参すること。
＊時間の都合により演技の一部省略または中断を求めることがある。

【組踊】

１．組踊「執心鐘入」「二童敵討」「女物狂」(各役の唱え)より当日１演目を指定
２．女踊「伊野波節」「諸屯」より１演目を選択
３．二才踊「前の浜」「高平良万才」より１演目を選択

＊地謡は受験生が同伴すること(三線２名、太鼓１名)。
　稽古着（長着）を着用。小道具は持参すること。
＊１の組踊台本は大学側で準備する。
＊時間の都合により演技の一部省略または中断を求めることがある。

演奏芸術専攻

声楽専修	試　験　曲　等

Ａ．オペラアリア２曲（ただし、うち１曲は宗教曲のアリアも可）
Ｂ．歌曲　１曲

＊曲目はそれぞれ異なる曲を計３曲とし、自由選択とする。ただし、この３曲の中に W.A.Mozart の声楽曲を１曲含むこと。
＊Ａ・Ｂ３曲の合計時間は 10～15 分とする（曲間を含む）。
＊同一作曲家の作品は１曲のみとする。
＊歌唱は暗譜で行うこととし、伴奏者は受験生が同伴すること。ただし遠隔地（沖縄本島以外）の受験者に限り、大学が用意することも可能である。P.8「Ⅵ　受験上の注意」を参照のこと。
＊実技試験の演奏順は、受験曲目提出用紙に記入した順とする。
＊前奏、間奏、後奏は省略することも可。ただし、カット箇所を記入の上、受験曲目の楽譜を出願時に提出すること。
＊時間の都合により、演奏の一部、または演奏曲の省略、中断を求めることがある。

ピアノ専修	試　験　曲　等

Ａ．J.Haydn、W.A.Mozart、L.v.Beethoven のソナタより１曲（全楽章）
Ｂ．上記で選択した作曲家以外の、任意のピアノ独奏用作品（複数曲でも可）

＊Ａ、Ｂ両方の演奏合計時間が 30 分以上。
＊Ｂの作品は、出版されている作品に限る。内部奏法を指示した作品は除く。
＊Ａ、Ｂの順に演奏すること。
＊演奏は暗譜であること。
＊繰り返しは自由とする。
＊時間の都合により、演奏の一部省略、または中断を求めることがある。

管弦打楽専修	試　験　曲　等

以下より任意の１曲を選択し、全楽章を演奏すること。
カデンツァがある曲については任意のカデンツァを含む。
ピアノによる伴奏つき。暗譜で演奏すること。
伴奏者については受験生が同伴すること。

＊時間の都合により試験当日、前奏、間奏、後奏及びソロパートの一部を省略または中断を求めることがある。

＜ヴァイオリン＞
１．F.Mendelssohn：ヴァイオリン協奏曲　ホ短調　作品 64
２．P.I.Tchaikovsky：ヴァイオリン協奏曲　ニ長調　作品 35
３．上記１．２．の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜ヴィオラ＞
１．F.A.Hoffmeister：ヴィオラ協奏曲　ニ長調
２．C.P.Stamitz：ヴィオラ協奏曲　第１番　ニ長調
３．上記１．２．の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜チェロ＞
１．A.Dvořák：チェロ協奏曲　ロ短調　作品 104
２．E.Lalo：チェロ協奏曲　ニ短調
３．上記１．２．の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜コントラバス＞
１．D.Dragonetti：コントラバス協奏曲　イ長調
２．S.Koussevitzky：コントラバス協奏曲　嬰ヘ短調　作品 3
３．上記１．２．の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜フルート＞
１．W.A.Mozart：フルート協奏曲　第１番　ト長調　K.313 (285)
２．上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜オーボエ＞
１．W.A.Mozart：オーボエ協奏曲　ハ長調　K.314 (285d)
２．上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜クラリネット＞
１．W.A.Mozart：クラリネット協奏曲　イ長調　K.622
２．上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜ファゴット＞
１．W.A.Mozart：ファゴット協奏曲　変ロ長調　K.191 (186e)
２．上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜サクソフォーン＞
１．J.Ibert：アルトサクソフォーン室内小協奏曲
２．上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜ホルン＞
１．R.Strauss：ホルン協奏曲第１番　変ホ長調　作品 11
２．上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜トランペット＞
１．J.Haydn：トランペット協奏曲　変ホ長調
２．上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜トロンボーン＞
１．F. David：トロンボーン協奏曲　変ロ長調
２．上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜バストロンボーン＞
１．V.Nelhybel：バストロンボーン協奏曲
２．上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜ユーフォニアム＞
１．J.Horovitz：ユーフォニアム協奏曲
２．上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜テューバ＞
１．R.Vaughan Williams：テューバ協奏曲
２．上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜打楽器＞
１．A.Jolivet：打楽器協奏曲
２．上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

＜マリンバ＞
１．A.Koppel:マリンバ協奏曲第１番
２．上記の協奏曲と同程度以上の任意の協奏曲

音楽学専攻

音楽学専修

口述試験
研究計画書に関する口述試験

＊研究計画書の提出
本学所定の様式に記入すること。
口述試験の際に、自分用の控えを持参すること。

作曲専修

口述試験
提出作品、作曲理論の学習歴および研究計画に関する口述試験（研究計画書持込可）

＊作曲作品の提出
楽譜３点以内とし、入学願書書類封筒に封入し、郵送すること。
（直接持参は受け付けない。）
なお、口述試験の際に、提出した楽譜の控えを持参すること。

Ⅶ　受験上の注意

1　試験に関する諸事項は、全て首里当蔵キャンパス管理棟前に掲示するので、常に注意すること。
2　実技試験における試験の順番は、係員の指示に従うこと。
3　試験当日の集合時間・場所は厳守すること（２ページ参照）。決められた集合時間に遅れた者の受験は原則として認めない。やむを得ない事情により遅刻した場合はただちに係員に申し出ること。
4　伴奏者について
①受験生が同伴する場合は、出願時に伴奏者氏名の記入欄に記入すること。
②声楽専修を受験する者のうち、大学が用意することを希望した場合は、出願時に「大学が用意することを希望」を選択し、出願書類と共に伴奏楽譜を提出すること。伴奏合わせ日程は、10 月試験は令和７年 10 月 24 日（金）、２月試験は令和８年１月 30 日（金）を予定しているが、詳細については出願書類受理後の事務局からの連絡に従うこと。受験生からの時間帯の指定は出来ない。
5　試験当日の受験生（伴奏者を含む）は指定された場所に集合し、以後はすべて係員の指示に従うこと。
6　実技試験前の練習室の使用については、当日、集合場所において指示する。
7　受験の際には常に受験票を携帯すること。万一、受験票を忘れたり紛失した場合は速やかに係員に申し出ること。
8　楽器の持参等について
①実技試験で使用する楽器のうち、ピアノ、打楽器、マリンバ以外は各自持参すること。
②コントラバスについて、楽器を持参できない場合は本学で用意することが可能である。
楽器を持参するか否かを出願時に選択すること。
9　打楽器受験者は、Ａ４の用紙に使用楽器及び楽器の配置を記入して（様式は自由）出願時に提出すること。
10　試験内容に関する問い合わせには応じない。

Ⅷ　不正行為

1　次のことをすると不正行為となります。
試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。
・入学志願者本人以外の者による試験解答への関与
・監督者の指示に従わない場合
・本項記載事項の他、入学試験に関し各種要項で禁止されている事項に反した場合
・試験に関する内容についてオンライン等を含め、第三者が閲覧、視聴できるような状態にすること
・その他、円滑な試験実施を阻害するとみなされる一切の行為

2　上記１以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、１と同様です。
・許可された時間や場所以外で、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ＩＣレコーダー等の電子機器類やイヤホン、ヘッドセットをかばんなどにしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
・指定された持参用具以外の物の持ち込み・使用を発見した場合。

Ⅸ　出願手続き

1　出願期間

10 月試験	令和７年９月 19 日（金）から同９月 29 日（月）まで
２月試験	令和７年 12 月８日（月）から同 12 月 15 日（月）まで

＊出願はすべて**郵送（書留）**によるものとする（普通郵便及び直接持参は受理しない）。
＊**発信局消印が上記の期間内のものを有効**とする。

2　出願方法
本入学試験はオンライン出願で行う。大学ウェブサイトからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。

入学考査料について

ア　30,000 円（納入方法はオンライン出願ページの指示に従い、10 月試験は令和７年９月 29 日（月）までに、２月試験は令和７年 12 月 15 日（月）までに納付すること。クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能）。
※領収書の提出は不要。
イ　別途手数料がかかるため留意すること。
ウ　いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

オンライン出願の際は、下記書類を郵送（書留郵便で速達）する必要があり、その提出までが出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日の消印があるものに限り受理する。

＊出願手続きについては「オンライン出願サイト」の注意事項を参照のこと。
オンライン出願サイト(URL：https://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html)

3　出願書類等

書　類	様式・書式	記　入　要　領　等
①入学志願票	オンライン出願ページから入学志願票を印刷し提出すること	ア　入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページの URL が送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。 イ　外国人は、「氏名（漢字）欄」は、入学志願者の旅券に記載の英字氏名で記入し、「氏名（カナ）欄」は、入学志願者の氏名をカタカナで記入すること。 ウ　住所は、本学からの通知等が確実に受け取れる郵便番号・住所を記入すること。入力時の住所でよい。 エ　「最終学歴欄」は、卒業（修了）年月日、学校名、所在地を記入すること。 オ　「学歴欄」は、以下のとおり出願資格により必要となる教育機関の学校名、所在地名、修業年限、入学年月日、卒業（修了）年月日を年月順に記入すること。 (ｱ)Ⅲ出願資格１(1)、(2)、(7)又は(8)に該当する志願者 高等学校以降の教育機関 (ｲ)Ⅲ出願資格１(3)、(4)、(5)、(6)、(9)又は(10)に該当する志願者 すべての教育機関（小学校以降） カ　入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前３ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願頁でアップロードすること。 ※受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページから入手可能となる。
②卒業証明書又は卒業見込証明書 (大学又は最終学校)	様式随意	出身大学長が証明したもの（原本）を提出すること。 本学の卒業者及び卒業見込者は不要 日本国以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。 ※独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者は学位授与証明書の写し、授与見込みの者については同機構による授与申請を受理した証明書（学位授与申請受理証明書）
③成績証明書	様式随意	出身大学長が証明したもの（原本）を提出すること。 本学の卒業者及び卒業見込者は不要 日本国以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。
④研究計画書	本学所定の様式	オンラインインターネット出願ページから研究計画書をダウンロードし必要事項を記入すること。詳細は提出用紙の注記を参照のこと。
⑤その他の書類 （住民票抄本）	様式随意	県内居住者は入学料の額が軽減されるので、**令和７年４月１日以前から県内に住所を有することを証明する本人か配偶者、又は一親等親族の住民票抄本を必ず提出する**こと。

⑥作曲作品 (作曲専修受験者のみ)	様式随意	提出は３点以内とし、製本をせずに、クリップ等でまとめておくこと。
⑦受験曲楽譜 (声楽専修受験者のみ)	様式随意	受験曲目の楽譜提出。(カットのある場合はその箇所を明記する。) (提出された楽譜は返却しない。)

「オンライン出願サイト(URL: https://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html」のページより上記①④の書類を印刷し、必要事項を記載の上、②③⑤の書類(⑤は要提出者のみ)とともに本研究科に郵送すること。なお、⑥⑦は出願期間内に同提出先に願書等出願書類と別便で速達書留により郵送すること。
＊願書等の受理後はいかなる事情があっても書類の変更、考査料の払戻はしない。

４　入学志願票等提出先　　**沖縄県立芸術大学教務学生課**
〒903-8602　沖縄県那覇市首里当蔵町１－４　　TEL 098-882-5080

５　受験票について

受験票は、出願書類受理後に「オンライン出願サイト」ページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に持参すること。

６　個人情報の取扱い

（１）個人情報の利用目的について
出願及び入学手続きにあたって記入した氏名、住所その他個人情報は、以下の事項に付随する事務処理を行うために利用する。
① 入学試験実施（出願処理等）
② 合否通知、入学手続き書類の送付
③ 入試成績の情報提供
④ 学生の福利厚生に資する情報の提供
⑤ 学業および学生生活に関する管理、連絡および手続き
⑥ 大学の施設・設備の使用に関する管理、連絡および手続き
⑦ 本人および保証人への連絡、送付する各種書類の発送
⑧ 個人を特定しない統計処理
なお、不要となった情報の確実な破棄をはじめとし、提出された個人情報は個人情報保護法に則った万全の体制で管理する。

（２）個人情報の第三者提供について
本学が取得した個人情報等は、以下のいずれかに該当する場合を除き、第三者へ提供、取扱いを委託することはない。
① 利用者の事前の承諾を得た場合
② 業務委託業者に対して、利用者に明示した利用目的の達成のために必要な範囲で個人情報等の取扱いを委託する場合
③ 法令の定めにより提供を求められた場合

（３）情報主体の権利尊重について
本学は、個人情報等に関する情報主体の権利を尊重し、情報主体から事故情報の開示、訂正もしくは削除、又は利用もしくは提供の拒否を求められたときは、社会通念や慣行に照らし妥当な範囲でこれに応じる。

Ｘ　外国人志願者に対する特別措置

外国人で入学を志願する者は、本要項に定める事項のほか、以下の定めによる。
◆出願資格
本学大学院の授業を理解できる程度の日本語能力を有すること。
◆出願手続き
１　願書受付
（10 月試験）　令和７年（2025 年）８月１日（金）から同年９月 24 日（水）まで
（２月試験）　令和７年（2025 年）11 月１日（土）から同年 12 月 10 日（水）まで

２　出願書類
本要項に定める書類（P.11～12 に記載）のほか、以下の書類等を提出しなければならない。
(1) 日本語能力試験（JLPT）で N2 以上に合格していると証明できる書類。
(2) 学費・生活費の負担能力を証明する書類
(3) 旅券の写し、又は在留カード（もしくは外国人登録証明書）の表裏両面の写し

３　入学手続き
入学手続きの際に、住民票の写し（または住民票記載事項証明書）もしくは、在留カードの表裏両面の写し（または外国人登録証明書）を提出すること。

※日本入国の査証申請及び在留資格の取得手続きは、入学手続きとは別に、入学希望者が本人の責任で行うこと。

◆入試科目
本要項の P.５記載。ただし語学にかえて、日本語能力を確認するための面接を行う。

外国人志願者に対する特別措置について、不明な点は教務学生課に問い合わせること。
TEL　098-882-5058　　FAX　098-882-5033　　教務学生課　E-mail　kyomu@okigei.ac.jp

ＸＩ　合格発表

10 月試験	令和７年 10 月 28 日（火）午前 10:00 予定　※本学ウェブサイトに掲載
２月試験	令和８年２月６日（金）午前 10:00 予定　※本学ウェブサイトに掲載

＊合格者には発表と同時に文書で通知し、入学手続きについても指示する。
＊電話での問い合わせには一切応じない。
＊入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、３月２日(月)以降に「追加合格者の決定」を行い本人に直接連絡（電話等）するので、３月２日(月)から３月６日(金)までの間、確実に連絡できるようにしておくこと。（連絡は大学側から行い、受験者からの問い合わせには応じない。）

ＸⅡ　入学手続き

期　間：

10 月試験	令和７年 10 月 30 日（木）から同 11 月 4 日（火）まで ※消印有効
２月試験	令和８年２月 12 日（木）から同２月 18 日（水）まで ※消印有効

＊窓口受付時間は午前９時～午後５時(土・日、祝日を除く)

場　所：本学教務学生課

納付金の納入：
入学料　県内居住者　282,000 円、その他の者　512,000 円
納入期限

10 月試験	令和７年 10 月 30 日（木）から同 11 月 4 日（火）まで
２月試験	令和８年２月 12 日（木）から同２月 18 日（水）まで

授業料　前期分　267,900 円（年額 535,800 円）
納入期限　　令和８年４月 30 日（木）まで

※　納入期限が、土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。また、授業料等の改正が行われた場合には、改正後の授業料が適用される予定である。
※　長期履修学生制度の詳細については大学ウェブサイトを確認すること。

県内居住者とは、各号のいずれかに該当する者をいう。（住民票による証明が必要です）
(1) 入学の日(４月１日)の１年以前から引き続き県内に住所を有する者
(2) 入学の日(４月１日)の１年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は１親等の親族のある者

＊入学料及び授業料の減免について
　原則として大学の学業成績の平均が 2.0（良）以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は２分の１減額の可否を審査し決定する。
　１　天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
　２　生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）による保護を受けている者と同一世帯にある者
　３　前項のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

合格取消：令和８年３月 31 日（火）までに「Ⅲ出願資格」に掲げる要件を満たすことができない場合には、合格を取り消すものとする。

XIII　過去の試験問題の公表

沖縄県立芸術大学大学院音楽芸術研究科では、過去の入学試験問題（語学・基礎能力）を本学ウェブサイトで公表している。

XIV　入試成績の情報提供について

個人情報の保護に関する法律に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の情報提供依頼を請求することができる。

（１）提供する内容　当該年度の受験科目の総点及び専門試験の得点を所定の様式により提供する。
（２）提供依頼できる期間

10 月試験	令和７年 11 月４日（火）から同 12 月２日（火）まで
２月試験	令和８年３月２日（月）から令和８年３月 31 日（火）まで

※９時から 17 時まで（土・日、祝日を除く）

（３）提供依頼の受付を行う場所
本学教務学生課
（４）提供の方法
本人部分のみ閲覧
（５）提供依頼に必要な書類
受験票のほか、本人確認書類（マイナンバーカード、**運転免許証、**健康保険被保険者証**、旅券を持参すること。**
（６）提供依頼の方法
受験者本人が、口頭で本学教務学生課に申し出ること。
（７）その他
電話による問い合わせには応じない。また、県内離島あるいは県外在住者で来学が困難な者は、個人情報の保護に関する法律に基づく手続きが必要となる。
手続き方法については、本学ウェブサイトを参照すること。

XV　入試説明会

実施日時：令和７年７月 25 日（金）　17:40 開始予定

※ 対面およびオンラインで実施する。
※ 参加にあたっては、事前に申し込みを行うこと。
※ 入試説明会への参加の有無は試験の合否に影響しない。
※ ２月試験出願予定者については、11 月中旬から下旬頃に個別相談を受け付ける。
※ 入試説明会等の詳細は本学ウェブサイトで確認すること。

■大学院案内■

■専修免許状

教育職員免許法に定められた所定の単位を修得すれば、中学校教諭専修免許状(音楽) と高等学校教諭専修免許状(音楽) を取得することができます。ただし当該教科等の１種免許状を取得済みであること。

■学芸員資格

博物館学課程所定の単位を修得すれば、学芸員の資格を取得することができます。

■長期履修制度

職業を有している等の事情により、２年間の修業年限では履修が困難な学生に対して、当該修業年限を超えて履修することができるよう履修期間を延長する制度で、音楽芸術研究科における長期履修の修業年限は３年、在学年限は４年である。

授業料の総額は、２年間の授業料総額（535,800 円×２年＝1,071,600 円）と同額で、１年あたりの授業料は当該金額を３年間で分割した額（1,071,600 円÷３年＝357,200 円）となる。

対象者は、以下のとおりである。なお、事前申請が必要であり、承認された場合のみ長期履修生となることができる。

①フルタイム、パートアルバイト含む有職者
②育児、介護を行う者
③その他やむを得ない事情を有し、修行年限での修了が困難な者
※①②のいずれも修学に支障を及ばさない範囲の者は除外

■学生教育研究災害傷害保険等への加入

学生教育研究災害傷害保険（以下「学研災」という。）は、学生が①講義、実験・実習等への正課中、② 学校行事中、③前記①、②以外で大学の施設にいる間、④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間、⑤通学中、⑥学校施設等相互間の移動中に不慮の事故により傷害を受けた場合に、保険金を支給する全国規模の補償制度である。

また、学研災付帯賠償責任保険（以下「付帯賠」という。）は、国内において、学生が正課、学校行事及びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する。

上記の保険は、保険期間中に応じた少額の掛金を一度納入することにより、当期間中の災害に対し、治療日数及び災害内容に応じた補償がなされるので、万一の事故に備え、本学学生は全員加入すること。

なお、加入手続は、オリエンテーションの際に行う。

学研災付帯学生生活総合保険は、「学研災」及び「付帯賠」の正課・学校行事中を補償する保険では不足すると思われる、24 時間補償の保険である。

「学研災」や「付帯賠」とは異なり、保険の加入手続き等は引受保険会社と直接行うこととなる。（加入にあたっては、「学研災」や「付帯賠」に加入している学生に限り加入できる。）

※「学研災」及び「付帯賠」保険に係る掛金（保険料）と保険期間

	掛金（保険料）合計金額（２年間分）	保険期間
学生教育研究災害傷害保険	1,750 円	２年
学研災付帯賠償責任保険	680 円	

（注）この保険に関する照会は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に行うこと。

■大学院研究室一覧■

（令和7年4月現在）

舞台芸術専攻	琉球古典音楽専修	琉球古典音楽研究室	仲嶺　伸吾（安冨祖流） 山内　昌也（野村流） 新垣　俊道（野村流） 未　定（琉球箏曲）	教授* 教授* 准教授 非常勤講師
	琉球舞踊組踊専修	組踊研究室	比嘉　いずみ 阿嘉　修 嘉数　道彦	教授*（兼） 准教授 准教授
		琉球舞踊研究室	比嘉　いずみ 嘉数　道彦	教授* 准教授
演奏芸術専攻	声楽専修	声楽研究室	山下　牧子 山内　昌也 松田　奈緒美	教授* 准教授 准教授
	ピアノ専修	ピアノ研究室	小杉　裕一 小沢　麻由子 大城　英明	教授* 教授* 准教授
	管弦打楽専修	弦楽研究室	岡田　光樹（ヴァイオリン） 林　裕（チェロ） 市坪　俊彦（ヴィオラ） 吉田　秀（コントラバス）	教授* 教授* 非常勤講師 非常勤講師
		管打楽研究室	阿部　雅人（ホルン） 澤村　康恵（クラリネット） 倉橋　健（トランペット） 屋比久　理夏（打楽器） 江戸　聖一郎（フルート） 佛田　明希子（オーボエ） 佐藤　由起（ファゴット） 大城　正司（サクソフォーン） 吉川　武典（トロンボーン） 未　定（ユーフォニアム） 池田　幸広（テューバ）	教授* 教授* 教授 准教授 講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師
音楽学専攻	音楽学専修	音楽史研究室	高瀬　澄子（日本音楽史） 倉橋　玲子（西洋音楽史） 向井　大策（西洋音楽史）	教授* 准教授 准教授
		民族音楽学研究室	小西　潤子（民族音楽学）　※ 遠藤　美奈（民族音楽学）	教授* 准教授
		舞踊芸能論研究室	久万田　晋（民俗芸能論）　※ 呉屋　淳子（文化人類学）	教授* 准教授
	作曲専修	作曲研究室	塚本　一実 土井　智恵子	教授* 准教授

＊ は指導教員

※ 令和９年３月31日退職予定

研 究 計 画 書（舞台芸術専攻・演奏芸術専攻・音楽学専攻作曲専修）

＊太枠のみ記入すること。

受験番号		専修	氏　　名	

1．研究テーマ及び概要

入学後の研究テーマと目的、およびその設定理由について、記してください。

【研究テーマ】

【研究の目的】

【研究テーマ設定の理由（実技と研究のそれぞれについて具体的に言及すること）】

(1/2)

研 究 計 画 書（つづき）

2．研究の計画

研究対象とする作品をあげて、2 年間の具体的な研究方法を年次に分けて記してください。

なお、長期履修制度*での履修を希望する場合は、【2 年次】の枠内で適宜記載してください。

【1 年次】

【2 年次】

＊長期履修制度については、P.15 を参照のこと。

(2/2)

研 究 計 画 書（音楽学専攻音楽学専修）

＊太枠のみ記入すること。

受験番号		氏　名	

1．研究題目

2．研究テーマの選択に至る経緯（500～600 字程度）

この研究テーマを選んだ動機、このテーマに関するこれまでの学習の概要、参照した文献や調査した資料などについて、詳しく述べなさい。

（1/2）

研 究 計 画 書（つづき）

3．学習と研究の計画（800～900 字程度）

修士課程において、何について学習し、何をどのように研究したいか、目的と方法について、計画を述べなさい。

出願書類等一覧表

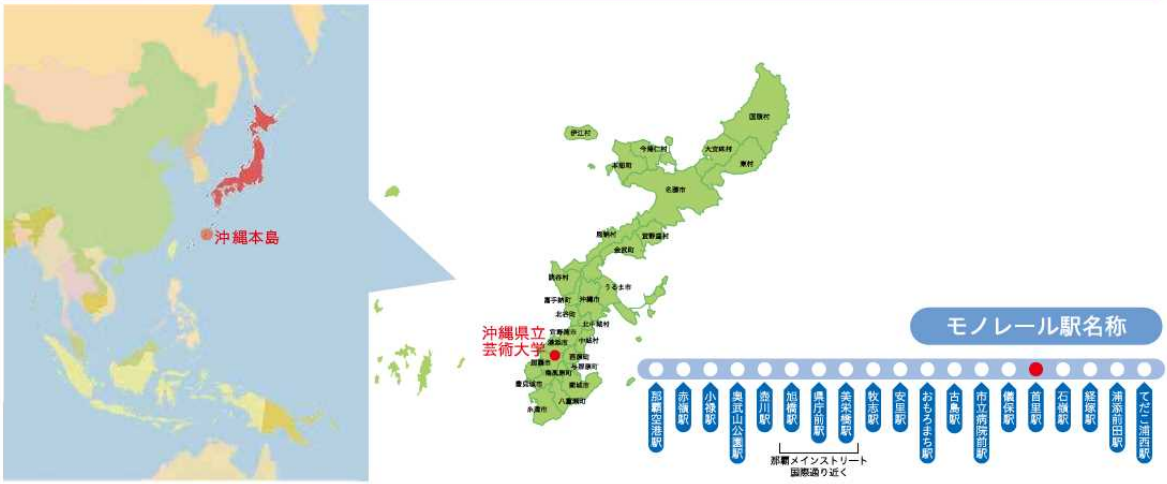
氏名	

以下の書類を順序どおりにクリップでとめ、一番上に本票を添付し、封筒に入れること。

順序		オンライン出願 チェック欄
1	入学志願票	☐
2	卒業証明書又は卒業見込証明書 ※本学の卒業者及び卒業見込者は不要	☐
	日本語以外の証明書の場合は日本語訳も提出 （志願者が訳し署名したものでも可）	☐
3	成績証明書	☐
	日本語以外の証明書の場合は日本語訳も提出 （志願者が訳し署名したものでも可）	☐
4	研究計画書	☐
5	**（入学の日の１年以前から沖縄県内に住所を有する場合のみ）** 住民票抄本	☐
6	**（外国人志願者のみ）** 日本語能力を証明できる書類 日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する。	☐
7	**（外国人志願者のみ）** 学費・生活費の負担能力を証明する書類	☐
8	**（外国人志願者のみ）** 旅券の写し。在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出。	☐
9	**（作曲専修受験者のみ）** 作曲作品	☐
10	**（声楽専修受験者のみ）** 受験曲楽譜	☐

アクセスマップ

沖縄県立芸術大学の位置　Location of the Okinawa Prefectural University of Arts



沖縄県立芸術大学周辺略図